

Profile

ボルノ鈴木

あらゆるメディア、ジャンルで売文して生きているフリーダムライター。なぜかこのリノベ記事は友人諸氏のチェック率が高く、「面白い」と言ってもらえるのがありがたい。無鉄砲に4ケタ万円使ってアレコレしてるのが、自分の知り合いだったらそりゃ面白いよなと、確かに自分でも思う。



た。そこで母親に「ああいふ募金は強くアピールして集めるんじゃないかとね」と話すと、コンマ3秒のスピードで「善意！」と訂正された。恐ろしく当時エロマンガの読み過ぎで「ぜん」まで言った時点で「前戯」が最有力候補として決定してしまっただが、これは思春期男子としては恥ずかしい失敗だった。今なら「いや、前戯も善意なんですよ」とケシー高峰ばりに気の利いた返しもできるのだが、それはそれでやはり母親に言うべき言葉ではないだろう。

さて本題。今回の実家改修プロジェクトは、個人的にはあえて「レスト・モッド住宅」と呼んでいる。文中各所では便宜上、リノベーション、という言葉も使っているが、元がカスタムカー用語の「レスト・モッド」を使うことで、何となく自分の気分が上がるからだ。

「レスト・モッド」という言葉は、レストア(復元)と、モダン(近代化)を組み合わせた言葉だ。キレイ

いよいよ  
作業開始!

# 基礎、床、壁、 全部に手を入れます

1985年築の昭和丸出しな実家を、手放すのではなくリノベしようという当企画。カスタムカーの世界でお馴染みの「レスト・モッド」の手法を家にも転用し、クルマ好きの理想であるガレージ住宅を作り上げていきます!

PORN SUZUKI'S #04  
**HOUSE RENOVATION PROJECT**

Text&Photo/Takayoshi SUZUKI

ついに!

## 基礎の作業が始まりました

今回の改修で1階も2階も間取りを大きく変更するので、ほぼ全ての壁、床を抜いたスケルトン状態となった実家。1階は間取り変更に伴い基礎の立ち上がりの場所も変わってくるので、まずはそこから作業がスタート。調査解体の時点で判明していたが、実家の基礎は東部分以外は土のまま。昭和の時代はこれが普通だったようだが、現行スペックでは湿気対策の為に全面的にコンクリを流すのがポピュラー。なので最終的にはドバッとコンクリで固めます。



1

### その1 間取り変更に伴い基礎の立ち上がりを新設

道路側に面した6畳の和室をそのままガレージにする予定だったが、6畳サイズではクルマが入りきらないので、幅はそのままに奥行きを伸ばして対応。ガレージ奥にはガレージを覗ける大きな窓付きの部屋を作り、そこを仕事部屋にする予定。この間取り変更に伴い、1階では基礎の立ち上がりを新設中。



3



2



3



2



1

### その2 インナーガレージの為に外壁を撤去

1階部分は外壁をブチ抜いてインナーガレージを作るという大ネタも進行中。ついに外壁に大穴が開き、旧来のアプローチ部分のコンクリも撤去してガレージの床面とフラットにしていく段取りが進行中。昭和住宅ベースに大開口を空けてのインナーガレージは作れるんですよ! 皆さんも真似して欲しい!



5



4

ここが  
インナーガレージに  
なります



前回までの鈴木邸



内装部材と水まわりを選定

いよいよ家に関する決め事が多くなってきたので、まずは部屋のイメージを決定するフローリングを選びに「toolbox」のショールームに突撃。同時に水まわり関係のショールーム回りも行って、キッチンはタカラ、風呂トイレ洗面はパナソニックを導入することに決定。

今でこそ、こうして言葉を扱う仕事をしているが、いまだに意味や用法が曖昧なままの言葉は沢山ある。ネット上で見つけた難読難解な言葉は、検索バーにズッポシと突っ込めば解決するので本当にありがたい時代だが、それでも誤用で御用にならないように、なるべく丁寧にこさえたものを売文するように心がけている。

そもそも自分は、幼稚園の頃から普通に少年マンガを読んでいたで、意味は分からずとも言葉のインプットが早い子供だった。おかげで国語の成績は悪くなかったのだが、そこに足をすくわれることもあった。

中学校3年生くらいの時だろうか。母親と中野の駅前を歩いていたとき、熱心に宣伝する募金活動に遭遇し

